

# 神

## 2022年法隆寺金堂壁画模写秋季展

両界曼荼羅図(伝真言院曼荼羅)のうち胎藏界模写(部分) 2008~10年度模写 絹本着色 原本:平安時代前期 国宝 教王護国寺蔵

# と

# 仙

# と

# 色

2022年10月14日[金]

—— 11月13日[日]

休館日:月曜および10月22日(土)、23日(日) 開館時間:10:00~16:00

愛知県立芸術大学 法隆寺金堂壁画模写展示館

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合がございます。  
最新情報は大学ウェブサイトよりご確認ください。

入場無料

 愛知県立芸術大学

事前申込制

1組5名様以内。鑑賞は45分以内。作品保護のため天候等により閉館する場合がございます。

申込方法 電話または事前申込フォームからお申込みください。

電話 0561-76-2873 (平日9:00~17:30)

事前  
申込  
フォーム





2022年法隆寺金堂壁画模写秋季展

# 神と仏と色



2

愛知県立芸術大学では、開学間もない1974年より日本画専攻初代教授片岡球子の主導のもとわが国古典絵画の模写制作に取り組んできました。本展では、それら模写作品群の中から、色を象徴的に使用した作品をご紹介します。

《東寺所蔵伝真言院曼荼羅のうち胎藏界模写》では、鮮やかな衣を纏い様々な持物を手にしたたくさんの仏が大画面に整然と並んでいます。その中心仏たる大日如来が坐す一画は、特に特別な一画として、赤、青、黄、白、黒の五色で区画されています。《高松塚古墳壁画模写》では、被葬者が眠る石室の東西北の壁の中央に方角を司る神獣が描かれています。それらはそれぞれ青、白、黒の体躯を持ち、石室内に被葬者だけの宇宙を形成しています。

本展では、色に意味が込められた作品を展示いたします。さながら万華鏡のようにたくさんの色が交錯する画面のどこにどんな色が使われているか、是非探してみてください。



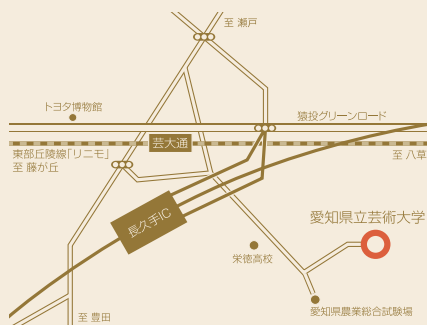
3

## 愛知県立芸術大学 法隆寺金堂壁画模写展示館

MUSEUM OF HORYUJI MURAL REPRODUCTIONS  
AICHI UNIVERSITY OF THE ARTS

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114  
TEL/FAX 0561-76-4698 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp>

- 名古屋方面から  
市営地下鉄東山線「藤が丘」駅下車、東部丘陵線(リニモ)「芸大通」駅下車徒歩約10分。
- 豊田・瀬戸方面から  
愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)「芸大通」駅下車徒歩約10分。



- 1 両界曼荼羅図(伝真言院曼荼羅)のうち胎藏界模写(部分)  
2008~10年度模写 絹本着色  
原本:平安時代前期 国宝 教王護国寺蔵
- 2 高松塚古墳壁画東壁模写(部分)  
1988年度模写 紙本着色  
原本:7世紀末~8世紀初 国宝 文部科学省所管
- 3 両界曼荼羅図(伝真言院曼荼羅)のうち金剛界模写(部分)  
2011~13年度模写 絹本着色  
原本:平安時代前期 国宝 教王護国寺蔵